

土地 利 用 計 画 図

開 発 許 可 日
年 月 日

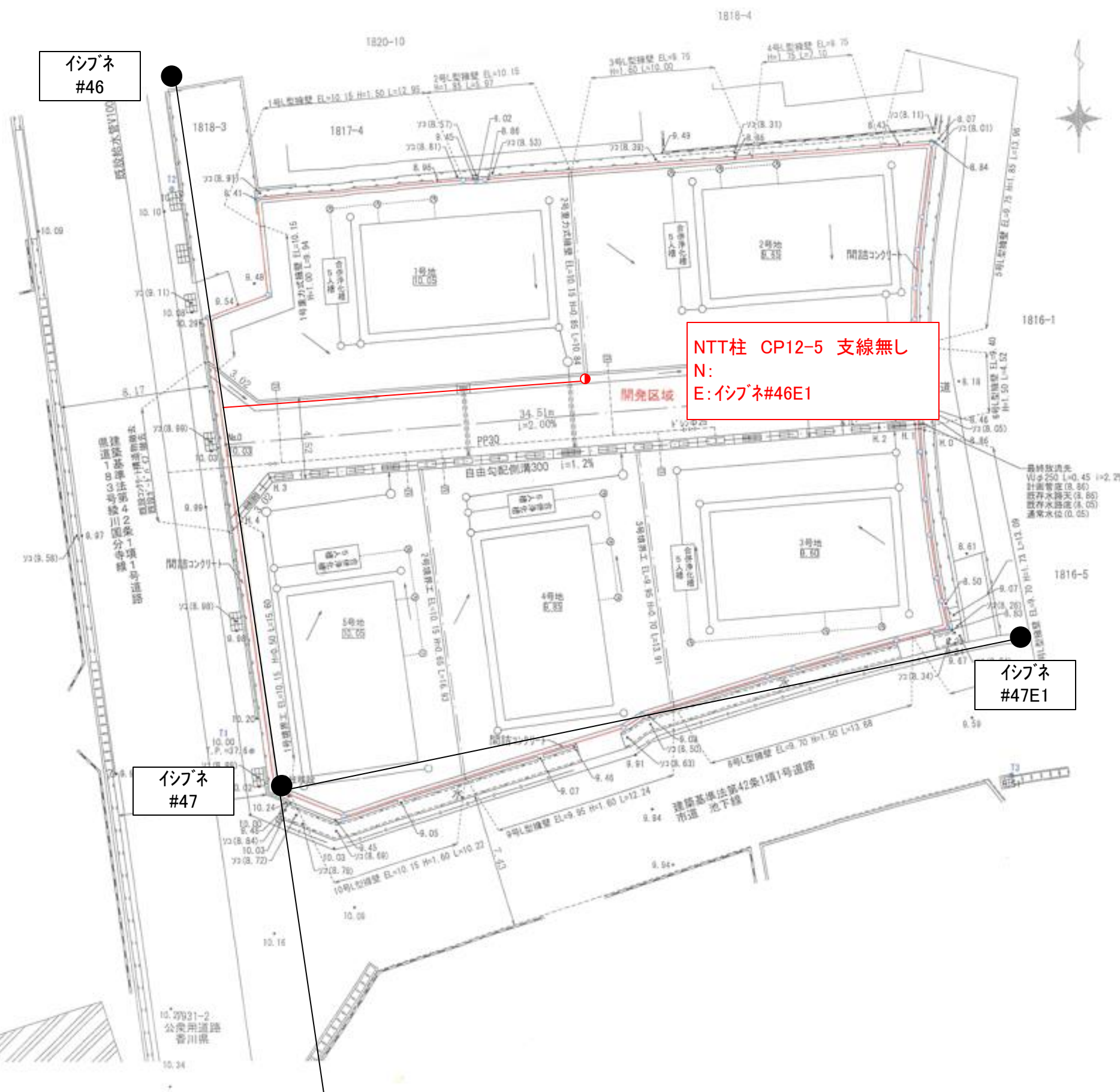
第 令 和
号 年 月 日

申 請 者

代表取締役 株式会社 エスレーヴ
津村江里子

作 成 者
住 所 ・ 氏 名

高松市三谷町一八九一番地四
土地家屋調査士
多田 幸広



※予定建築物の用途：一戸建ての住宅
 ※雨水枳には泥だめ15cm以上。
 ※管が交差する場合はクリアランスを10cm以上確保すること。
 ※土盛り0.60m未満且つ車輻通行箇所については重圧管又はコンクリート全管。
 ※本管上での取付管間隔は1m以上とする。
 ※取付管については本管に支管接続とし勾配は1.0%以上とする。
 ※断面方向の接続位置は本管の中心線より上方とする。
 ※排水管の放出口については、水路の通常水位より上に設置すること。
 ※宅内の排水管の土盛り：20cm以上確保。
 ※開発協議の対象は最終州から一次放流先までとする。
 ※図面内の高さの表記は任意高さとし、T4で標高 (T.P.表示) 換算している。
 ※本開発区域に隣接して本開発行為の公告日から5年以内に開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は建築指導課と協議すること。
 ※電柱を開発道路内に設置しない。
 ※構造物を設置しない開発区域界には、境界標識を設置すること。
 ※開発区域内における法定外水路及び用途廃止に伴う付替水路については、構造のみ審査対象とする。
 ※30cm未満の高気差に用いる構造物は、審査対象外であるので設計者の判断による。

凡例	
00.00	現況地盤
00.00	計画地盤
—	メーターボックス 宅内引込PPφ20
—	開発区域
○	雨水枳φ300 接続管VUφ150 勾配1.0%以上 (枳の深さH=0.8m以下はφ300) (H=0.8m~0.9mはφ350) (H=0.9m~1.0mはφ400) (H=1.0m~1.2mはφ450)
X	仕切弁
■	街灯 400×300、T-25
□	雨水枳から本管 VU管φ150 (管径 5%縮小) 接続
□	自由勾配区画 W=200、T-25

区画番号	敷地面積 (m ²)	計画地盤高 (m)
①	206.19	10.05
②	207.86	9.85
③	192.04	9.85
④	188.41	9.95
⑤	186.01	10.05